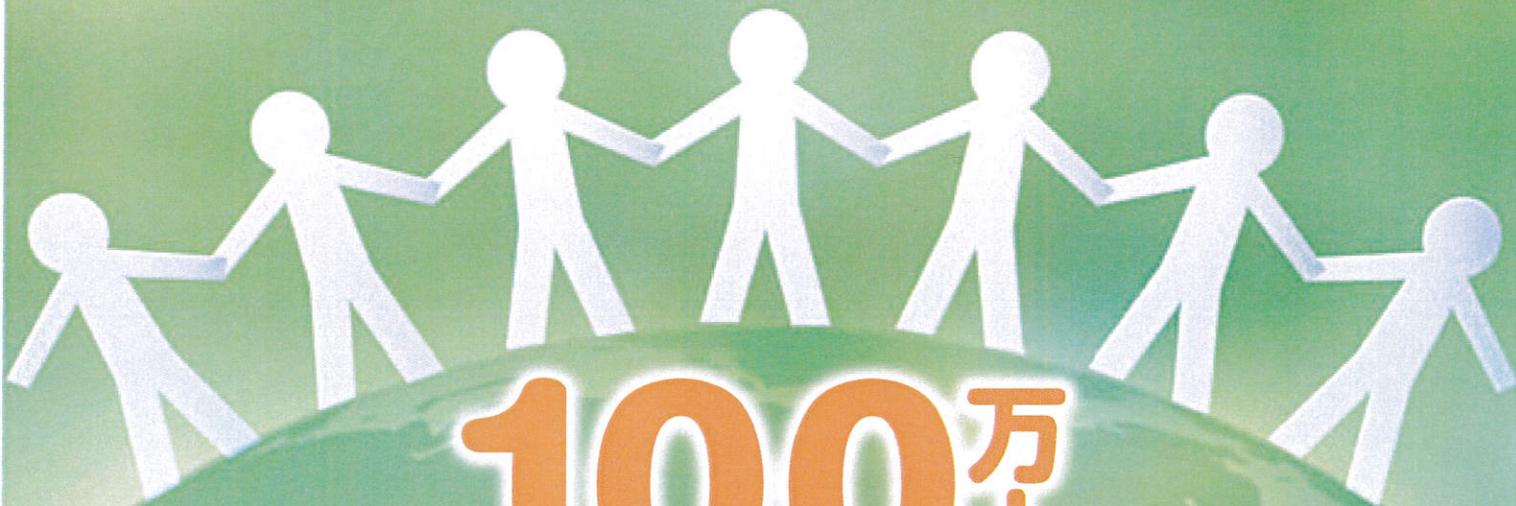


ひとりで悩んでいませんか？



100万人
の
なかまとともに

ご案内

てんかん相談専用ダイヤル《無料》

03-3232-3811 毎週(平日)月・水・金曜日
12:00~17:00

※全国から相談があるため、混み合うことがあります。
その際は、少し時間をおいてお掛け直してください。

“てんかん”は、誰もが発病することのある病気です。

悩んでいること、困っていること、気になること、知りたいこと、言いたいこと…、何でもお気軽にお電話ください。専門の相談員が、てんかんに関する最新の情報を提供いたします。



公益社団法人
日本てんかん協会

KEIRIN



このリーフレットは、競輪の補助を受けて制作しました。



〔てんかん相談専用ダイヤル〕とは

- 協会の会員はもちろん、誰でも利用できます。
- 相談費用はかかりません。(※通話料はご負担ください)
- 精神保健福祉士、心理士、看護師、教師、産業カウンセラー、などさまざまな専門職が、日替わりで皆さんのお話を伺います。
※経験豊富な先輩<家族>が、ピアサポートも行います。
- 全国からご相談がありますので、お一人30分以内を目安にお願いします。
- 皆さんのお話を十分に伺い、必要な関連情報を提供いたします。
※より専門性の高い、地域の社会資源もご紹介しています。



〔てんかん〕とは

てんかんは、脳の神経が一時的に過剰に活動(大量の電気が流れてしまう)をし、手足のびくつき、自動症、意識障害やけいれんなど、さまざまな症状(てんかん発作)がくりかえして表れる病気の総称です。多くの症状は一過性で、数秒から十数分ほどで回復します。症状が表れたからと、すぐに救急車を呼ぶ必要はありません。

出産時の脳への障害、交通事故などでのケガ、高齢になってからの脳血管障害などが原因となることがありますが、多くの場合は原因が明らかではありません。

遺伝や伝染(感染)は、心配しなくても大丈夫です。

夫です。

3歳までの発症が最も多く、18歳までに全体の80%が発症するといわれています。最近では、65歳以上の高齢者てんかんも大きな話題となってきました。

日本でも、100万人の患者さんが推定されています。その7割以上の方は、くすりの治療などで症状をコントロールできるようになり、健常な皆さんと変わらない社会生活を送っています。さらに、外科治療、食事療法などの緩和治療に加え、発作予知の研究なども進んでいます。

てんかん患者は
日本だけでも100万人



0歳



3歳



18歳



高齢者

最も発症率が高い

80%が発症

65歳以上でも発症



皆さん(こんなこと)で悩んでいます!

- 家の近くに、てんかんに詳しいお医者さんはいないでしょうか?
専門医、専門医療機関、相談窓口をご紹介します。
- てんかんと診断されたけど、使えるサービスや商品がありますか?
自立支援医療、障害者手帳、障害年金、生命保険、保護帽などの、最新情報をお伝えします。
- てんかんがあると、自動車を運転してはダメですか?
自動車の運転免許を始め、免許や資格の夢は諦めないでよい情報を正しくお伝えします。
- てんかんがあるということで、学校行事に参加できない、会社を解雇されそう…。
大変です! まずは詳しい経過と現状を教えてください。法の専門家などとも連携ができます。
- てんかんのことを、ずっと隠していて、誰にも話すことができません。
お名前も伺いません。今抱えている不安を、すべて話してください。(※30分だけですが伺います)
また、全国に協会の支部があります。各地の活動をご紹介します。ぜひ参加してみてください。
- 今処方されている薬は合っているのでしょうか?
医療の具体的な内容については、専門の医療機関のホットラインをご紹介します。



〔てんかん発作〕の介助法

皆さんのお知り合いのてんかんのある人を、サポートする基本姿勢です。



あわてずに、
冷静に対処しましょう!



騒ぎ立てないように、
周囲にも様子を見ることを
伝えましょう。



すぐに救急車を呼ぶ
必要はありません。

一舜手足がピクンとしたり、身体をもぞもぞまさぐったり、ちょっとした間ぼんやりするだけの小さな症状(発作)ですと、見守るだけで何もしなくても構いません。(※いつもと同じかな、と観察をしてください。)全身のけいれんや倒れてしまうような大きな症状(発作)ですと、安静にし安全が維持できる場所に移動しましょう。頭の下に衣類などの柔らかいものを敷き、身体を横向きにします。ネクタイやベルトは緩めます。口の中に物を入れるようなことはせず、意識が回復するまで呼吸ができていることを確認しつつ、そばにいてください。

家族の方やお医者さんに、症状の様子を正しく伝えられるためには、携帯電話(スマートフォン)で録画しておくのは、とても有効です。



相談窓口のご案内

相談専用ダイヤルの他にも…、

- 協会本部事務局での来所(面接)相談
※予約制(有料)
- 各都道府県支部の行事に参加
- 地域の行政(保健、福祉など)窓口
- 各地のてんかん診療、拠点施設
- 日本てんかん学会・専門医名簿(ウェブサイト)

ホームページトップ画面の「ご相談はこちらへ」をご覧ください。

《協会のHPトップ画面》



※e-mailのご相談は、受け付けていません。

てんかん診療ネットワーク

(Epilepsy Care Network-Japan)

<https://www.ecn-japan.com/>

※お近くの医療機関を検索できます。



日本てんかん協会とは

誰でも参加できる、市民団体(公益法人)です。

てんかんのある人やその家族が、安心して暮らせるための社会の実現を目指し、1976年に発足しました(1973年に生まれた二つ<親の会と守る会>のてんかん運動が統合して誕生)。別名「波の会」として、全国に支部があり、都道府県色豊かに活動しています。国際てんかん協会(IBE)の日本支部です。

●是非入会をして、共に歩みを進めましょう。

会費は月額500円(入会時のみ+入会金1000円)。毎月情報誌「波」と、各支部の会報をお届けします。オリジナルおくすり手帳(ヘルプマーク、専用カバー付)や各種リーフレットを配布。協会主催事業の優待、相談事業の優先利用が可能です。

